

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和4年 6月16日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 豊橋市中原町字地歩24の1		
氏名 井村屋フーズ株式会社		
取締役社長 菅沼 重元		
電話番号 0532-41-1191		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	井村屋フーズ株式会社 七根工場	
事業場の所在地	豊橋市西七根町奥足田口88	
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	コード09 食料品製造業	
② 事業の規模	5,669百万円	
③ 従業員数	143人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> : 廃プラスチックA→処理委託業者に委託しセメント製造燃料として再資源化 : 廃プラスチックB→処理委託業者に委託し安定型埋立処理 : 汚泥A→処理委託業者に委託し肥料として再資源化 : 汚泥B→処理委託業者に委託し天日乾燥処理 : 動・植物性残渣→処理委託業者に委託し肥料として再資源化もしくは焼却処分 : 金属屑→処理委託業者に委託し製鉄の原料として再資源化 : 紙屑→処理委託業者に委託し製紙の原料として再資源化 : 可燃物→自社で一般廃棄物・産業廃棄物として豊橋市資源化センターへ運搬後燃料として再資源化 	

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※公害防止統括者
※公害防止統括代理者
※廃棄物担当部署 (生産管理チーム施設管理担当)
※廃棄物処理とその悪臭管理者及び実務代行担当者
※特別管理産業廃棄物管理者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度 (令和3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A (有機汚泥)	汚泥B (食品工程汚泥)
	排出量	7782 t	4.0 t
①現状	(これまでに実施した取組) ・汚泥Aは活性汚泥法での処理を有効に実施できました。 ・汚泥Bは適正分別を継続します。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A (有機汚泥)	汚泥B (食品工程汚泥)
	排出量	7758 t	3 t
②計画	(今後実施する予定の取組) ・現在の所ありません。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥A汚泥Bその他5品目について社内分別を実施します。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥Bの一部で埋立処理ではなくサーマルリサイクルできる廃棄物処理業者を調査し処理業者を移行させる。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

- (管理体制図)
※公害防止統括者
※公害防止統括代理者
※廃棄物担当部署 (生産管理チーム施設管理担当)
※廃棄物処理とその悪臭管理者及び実務代行担当者
※特別管理産業廃棄物管理者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	排出量	244.9 t	
	(これまでに実施した取組) ・適正分別を継続しました。 ・ロス・ミス削減活動による食品ロス削減に取り組みました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	排出量	240 t	
	(今後実施する予定の取組) ・品質異常品の発生を抑制する取組みを継続し、食品ロス削減に取り組みます。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・動植物性残渣その他6品目について社内分別を実施します。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・社内分別を継続して実施していきます。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※公害防止統括者
※公害防止統括代理者
※廃棄物担当部署 (生産管理チーム施設管理担当)
※廃棄物処理とその悪臭管理者及び実務代行担当者
※特別管理産業廃棄物管理者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油 (ギヤー油)	金属くず (金属屑)
	排出量	0.4 t	4.4 t
	(これまでに実施した取組) ・適正分別を継続します。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油 (ギヤー油)	金属くず (金属屑)
	排出量	1 t	4 t
	(今後実施する予定の取組) ・現在のところありません。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃油金属くずその他5品目について社内分別を実施します。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・社内分別を継続して実施していきます。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※公害防止統括者
※公害防止統括代理者
※廃棄物担当部署 (生産管理チーム施設管理担当)
※廃棄物処理とその悪臭管理者及び実務代行担当者
※特別管理産業廃棄物管理者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA (ポリ袋)	廃プラB (塩ビ等)
	排出量	69.7 t	3.1 t
	(これまでに実施した取組) ・適正分別を継続します。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA (ポリ袋)	廃プラB (塩ビ等)
	排出量	69 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) ・現在のところありません。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラA廃プラBその他5品目について社内分別を実施します。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・社内分別を継続して実施していきます。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A（有機汚泥）	汚泥B（食品工程汚泥）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・自ら再生利用は行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A（有機汚泥）	汚泥B（食品工程汚泥）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・現在のところ自ら再生利用の予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A（有機汚泥）	汚泥B（食品工程汚泥）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	7522.6 t	— t
（これまでに実施した取組） ・汚泥A（有機汚泥）は脱水機での水分減量を行っています。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A（有機汚泥）	汚泥B（食品工程汚泥）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	7500 t	— t
（今後実施する予定の取組） ・脱水機での減量を継続して実施します。			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	
	(これまでに実施した取組) ・自ら再生利用は行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	
	(今後実施する予定の取組) ・現在のところ自ら再生利用の予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	
(これまでに実施した取組) ・自ら中間処理は行っていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	
(今後実施する予定の取組) ・現在のところ自ら再生利用の予定はありません。			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油（ギヤー油）	金属くず（金属屑）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	（これまでに実施した取組） ・自ら再生利用は行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油（ギヤー油）	金属くず（金属屑）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	（今後実施する予定の取組） ・現在のところ、自ら再生利用の予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油（ギヤー油）	金属くず（金属屑）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ー t	ー t
（これまでに実施した取組） ・自ら中間処理は行っていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油（ギヤー油）	金属くず（金属屑）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ー t	ー t
（今後実施する予定の取組） ・現在のところ、自ら再生利用の予定はありません。			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA（ポリ袋）	廃プラB（塩ビ等）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	（これまでに実施した取組） ・自ら再生利用は行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA（ポリ袋）	廃プラB（塩ビ等）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	（今後実施する予定の取組） ・現在のところ自ら再生利用の予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA（ポリ袋）	廃プラB（塩ビ等）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ー t	ー t
（これまでに実施した取組） ・自ら中間処理は行っていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA（ポリ袋）	廃プラB（塩ビ等）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ー t	ー t
（今後実施する予定の取組） ・現在のところ自ら再生利用の予定はありません。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A（有機汚泥）	汚泥B（食品工程汚泥）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組) ・本件について実施している事項はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A（有機汚泥）	汚泥B（食品工程汚泥）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組) ・現在のところありません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A（有機汚泥）	汚泥B（食品工程汚泥）
	全処理委託量	259.4 t	4.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	ー t	4.0 t
	再生利用業者への処理委託量	259.4 t	ー t
	認定熱回収業者への処理委託量	ー t	ー t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組) ・委託処理業者の実地確認を毎年行っている。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	
	(これまでに実施した取組) ・本件について実施している事項はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	
	(今後実施する予定の取組) ・現在のところありません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣		
	全処理委託量	244.9 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t		
		再生利用業者への処理委託量	244.9 t	
		認定熱回収業者への処理委託量	— t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	
	(これまでに実施した取組) ・委託処理業者の実地確認を毎年行っている。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油（ギヤー油）	金属くず（金属屑）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組) ・本件について実施している事項はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油（ギヤー油）	金属くず（金属屑）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組) ・現在のところありません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油（ギヤー油）	金属くず（金属屑）
	全処理委託量	0.4 t	4.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	ー t	4.4 t
	再生利用業者への処理委託量	0.4 t	4.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	ー t	ー t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組) ・廃油について委託処理業者の現地確認を毎年行っている。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA（ポリ袋）	廃プラB（塩ビ等）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	（これまでに実施した取組） ・本件について実施している事項はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA（ポリ袋）	廃プラB（塩ビ等）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	（今後実施する予定の取組） ・現在のところありません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA（ポリ袋）	廃プラB（塩ビ等）
	全処理委託量	69.7 t	3.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	69.7 t	3.1 t
	再生利用業者への処理委託量	69.7 t	ー t
	認定熱回収業者への処理委託量	ー t	ー t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ー t	ー t
	（これまでに実施した取組） ・委託処理業者の実地確認を社内規定に沿って行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥A (有機汚泥)	汚泥B (食品工程汚泥)
	全処理委託量	250 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	3 t
	再生利用業者への処理委託量	250 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	1 t	1 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者の現地確認を毎年継続する。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	
	全処理委託量	240 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	240 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	1 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1 t	
	(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者の現地確認を毎年継続する。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油（ギヤー油）	金属くず（金属屑）
	全処理委託量	1 t	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	4 t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	1 t	1 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者の現地確認を毎年継続する。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラA (ポリ袋)	廃プラB (塩ビ等)
	全処理委託量	69 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	69 t	3 t
	再生利用業者への処理委託量	69 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者の現地確認を毎年継続する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。